



東京園芸ニュース (28年度-70号)

平成28年12月 / 群馬県東京園芸情報センター

青島みかんは本日より販売開始、いちごは出荷本格化 静岡県産の青島みかん、いちご、秋冬野菜をPR!

静岡県 JA 静岡経済連 トップセールス

- 日時：12月15日（木）
- 会場：大田市場 東京青果(株)、荏原青果(株)
- 主催：JA 静岡経済連
- 内容：静岡県産農産物の展示と試食宣伝

■静岡県産みかん類の都中央入荷量第2位!

静岡県産農産物でこれから最盛期を迎えるレタス、青島みかん、いちごの試食宣伝会が、大田市場の東京青果(株)と荏原青果(株)の2カ所で開催されました。

H27年都中央における静岡県産のみかん類の入荷量は、愛媛県に次いで2番目、市場占有率は19%、入荷量伸長率(H27/H23)は115%と増加傾向です。

当日は、JA静岡経済連の茂木会長から「9月は天候不順で生育が劣ったが、10月中旬以降の天候回復で生育は良くなってきた。これから静岡県産農産物が本番を迎えるのでよろしくお願いしたい。」と挨拶がありました。

■静岡県産農産物の試食大好評!

試食では、本日から販売が開始される「青島みかん」といちご「紅ほっぺ」・「きらび香」、静岡県の野菜類で都中央入荷量が最も多いレタスを用いた「レタスとセルリーのスープ」が提供され、「こっちのいちごの方が酸味が低いね!」、「青島みかん甘いね!」等の市場関係者からコメントがありました。

今年度の静岡県産いちごの作付けは、「紅ほっぺ」が75%、2014年に静岡県が品種登録した「きらび香」が15%程度、「章姫」が10%程度で、「きらび香」も徐々に作付けが増えているとのことです。今年は花芽分化が遅く前年に比べて頂果房の収穫開始が10日程度遅れましたが、2番果は順調に経過しており、12月中～下旬には出荷量が増える見込まれています。



東京青果での挨拶の様子



荏原青果での展示の様子



「イチゴ」試食の様子



「レタスとセルリーのスープ」試食の様子